

<受験生への要請事項>

広島文教大学の受験に際しては、以下の内容について確認・順守してください。

① 感染防止のための注意事項

- ・日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認すること。なお、試験日の7日前からは本学の「健康観察記録表<受験生用>」に記録し、試験当日の受付で提示すること。

② 医療機関での受診

- ・試験日の1週間程度前から発熱・咳等の症状がある場合は、必要に応じてあらかじめ医療機関での受診をすること。

③ 受験できない者

- ・新型コロナウイルス感染症等に罹患し、試験日に入院中または自宅や宿泊施設において治療中の者（インフルエンザやノロウイルス等に罹患している場合も同様）。
- ・保健所により濃厚接触者に該当すると伝えられた者で、初期スクリーニングの検査結果が判明していない者
- ・保健所により濃厚接触者に該当すると伝えられた者で、初期スクリーニングの結果は「陰性」だったが、試験当日に発熱・咳症状のある者
- ・発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者については受験できる場合があるので、試験日前日の午前10時までに本学入試広報課（0120-75-3191）まで問い合わせること。
- ・海外から日本に入国し、入国後の待機期間中の者。（海外から日本に入国して受験する場合、受験生は防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入国後に待機を要請される場合は、その期間は受験できないため、待機期間の有無を確認の上、余裕を持って入国すること。）

④ 受験の取りやめ

- ・試験の前から継続して発熱・咳等の症状がある者は、当初予定していた日程ではなく、振替受験や追試験での受験を検討すること。また、自身の体調不良等により受験を控える場合は、「健康観察記録表<受験生用>」の提出など所定の手続きをもって振替受験や追試験での受験申請ができること。

⑤ 試験当日における対応

- ・試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験生が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがある。）に相談するとともに、体調が万全でない

場合は、無理をせず振替受験または追試験等の受験を検討すること。

- ・試験場に到着したのちに、発熱・咳等の症状が出た場合は、その旨を試験監督者等に申し出ること。
- ・試験時間中に、明らかに激しい咳をしているなど、他の受験者に影響があると監督者が判断した場合には、受験を中断して保健室または別室へ移動してもらい、症状等の確認後、振替受験または追試験等の受験を検討してもらうことがあること。
- ・発熱・咳症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では昼食時以外は常に着用すること（鼻と口の両方を覆うこと）。
- ・フェイスシールドまたはマウスシールドの着用のみでは受験できないこと（感覚過敏等によりマスク着用が困難な場合は、事前に「受験上の配慮申請」を行う必要があること）。
- ・受験者以外の入構はできないこと（ただし、受験上の配慮申請等で認められた同伴者は除く）。
- ・試験室等への入退室時には設置されたアルコール製剤で手指消毒を行うこと。
- ・休憩時間中などであっても、会話等は極力避けること。
- ・試験室からの退室時（帰宅時）は、人との距離を保つこと。また、退出の順番等について試験監督者から指示があった場合はそれに従うこと。
- ・トイレ使用時は、フロアの誘導表示に従うなど混雑を避けて利用すること。
- ・帰路においても「三つの密」の回避など新型コロナウイルス感染症に感染しないような行動をするとともに、帰宅後は手洗い等の感染予防対策を十分に行うこと。
- ・試験終了後1週間以内に新型コロナウイルスに罹患したことが判明した場合には、入試広報課（0120-75-3191）まで連絡すること。

⑥ 試験当日の服装、昼食

- ・昼食は各自持参し自席でとること。昼食時は他者との会話、交流、接触は特に控えること。また、食事を取り終えた後は速やかにマスクを着用すること。
- ・換気のために試験室の窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参すること。

⑦ 予防接種

- ・他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望ましいこと。

⑧ 「新しい生活様式」等の実践

- ・日頃から、「三つの密」の回避や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスの取れた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけること。
- ・そのほか、広島県の「広島コロナおしらせ QR」を活用することが望ましいこと

(試験当日に配布される QR コードを読み取れば、同じタイミングで同じ場所を訪れた方の感染が確認された場合に通知が届きます)。

なお、今後内容の追加・変更がある場合には、随時大学公式サイトにてお知らせします。

以上

受験番号：	受験者氏名：
-------	--------

平熱： <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 度程度
--

1. この「健康観察記録表」は試験日当日に持参し、受付に提示してください。
2. 試験日の7日前から1日1回毎日検温し、発熱・咳症状の有無等を下の表に記録してください。
3. 試験日の1週間程度前から発熱・咳等の症状がある場合は、必要に応じてあらかじめ医療機関での受診をしてください。
4. 試験の前から継続して発熱・咳等の症状がある人は、当初予定していた日程ではなく、振替受験や追試験での受験を検討してください。なおその際は、本紙「健康観察記録表〈受験生用〉」の提出など所定の手続きをもって振替受験や追試験での受験申請ができます（詳しくは入試広報課（0120-75-3191）へお問い合わせください）。

<記入項目A>

日付	検温結果	風邪症状等（該当するものに○）	その他の症状（概要を記入）
記入例	36.5	○無・有（発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚/嗅覚障害・咳・咽頭痛）	ない場合は未記入でよい
/		無・有（発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚/嗅覚障害・咳・咽頭痛）	
/		無・有（発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚/嗅覚障害・咳・咽頭痛）	
/		無・有（発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚/嗅覚障害・咳・咽頭痛）	
/		無・有（発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚/嗅覚障害・咳・咽頭痛）	
/		無・有（発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚/嗅覚障害・咳・咽頭痛）	
/		無・有（発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚/嗅覚障害・咳・咽頭痛）	
/		無・有（発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚/嗅覚障害・咳・咽頭痛）	
試験当日		無・有（発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚/嗅覚障害・咳・咽頭痛）	

<記入項目B>

次の項目の内1つでも該当する場合は受験できません。振替受験・追試験希望者は試験終了迄に入試広報課に連絡してください。

① 新型コロナウイルス感染症等に罹患し、試験日に入院中または自宅や宿泊施設において治療中である（インフルエンザやノロウイルス等に罹患している場合も同様）。	はい・いいえ
② 保健所により濃厚接触者*に該当すると伝えられた者で、初期スクリーニングの検査結果が判明していない。	はい・いいえ
③ 保健所により濃厚接触者*に該当すると伝えられた者で、初期スクリーニングの検査結果「陰性」であったが、発熱・咳症状がある。	はい・いいえ
④ 海外から日本に入国し、入国後の待機期間中である。	はい・いいえ

*濃厚接触者とは、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者を指します（保健所からの連絡が感染者等から間接的に伝達された者を含みます。）

*発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者については受験できる場合があるので、試験日前日の午前10時までに本学入試広報課（0120-75-3191）までお問い合わせください。

*試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験生が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがある。）に相談するとともに、体調が万全でない場合は、無理をせず振替受験または追試験等の受験を検討してください。

※本記録表に記載いただいた個人情報、受験時の健康状態を確認するのが目的です。それ以外には使用しません。

※本記録表に記載いただいた内容が、合否の判定に影響することはありません。